

竹の台総合新聞



2016年(平成28年)
11月21日月曜日
第56号

発行所
竹の台地域委員会
広報部

〒651-2274
神戸市西区竹の台
2丁目20-1
竹の台地域福祉センター内
電話 (078)992-6889
(地域福祉センター)



http://takenodai.net/

西区役所が西神中央に移転

今、区民の
民意を問う!
アンケート
にお答え
ください

候補地決定か?



西区役所が玉津から西神中央に移転するのを存じでしょうか。

一昨年(平成26年)度から調査が始まり昨年(平成27年)度末には3か所の候補地が選定。そして今年8月には、その中の一か所が新区役所候補地として選ばれました。ハローワークの東隣に位置する「プレンティ平面地駐車場敷地」です(2p参照)。

竹の台地域委員会では、8月29日に開催された、今期で12期目になる「西区区民まちづくり会議」の総会に初めて委員として参加し、ここまで話が進んでいることを知り、大変驚きました。

今年4月8日の神戸新聞に「西区役所の移転に向けた基本計画の策定が2016年度当初予算に新たに盛り込まれた」と掲載されており、それを受けて

地域委員会役員会でも「せっかく近くに区役所が来るのだから、移転にあたっては、場所や使い方、市民活動のためのスペースを設けるなどについて住民の意見をまとめて提出しよう」と話し合っていたところでした。が、気づいた時には、既に場所の選定が終わっていたとは・・・。

しかもその場所は、多くの竹の台の住民が思っていた美賀多の駅前空地ではなく(30年前入居の時に「駅前の美賀多台の土地には区役所が来ます」と説明されたという方の話を多数お聞きします)、駅から歩くと少し距離もあり、高低差もある所です。せっかく移転するのに、なぜもっと駅に近く、高齢者や障がい者・子ども連れの母親などにとって行きやすいところにならないのか。そして何より、なぜ今までそ

④西神中央駅周辺全体のまちづくりについて

意見

・ニュータウンとして開発された西神中央地区も街開きから30年以上が経過し、急速な高齢化や人口減少により住民が抱える課題も当時とは大きく変わってきている。

①計画策定プロセスの透明化について

質問

・8月29日の区民まちづくり会議の資料では、それまでどんなプロセスを経て当該計画が策定されたのか説明がなされなかった。「プレンティ平面駐車場敷地を新庁舎建設地とすることが適当である」はいつ、どこで、誰が決めたのか教えていただきたい。

意見

・2016年西区計画では、「双方方向のコミュニケーション」を重点目標としている。

西区長宛て質問・意見書

②西区庁舎整備にかかる専門委員会等の設置について

意見

・今まで「西区まちづくり会議」が区役所移転の議論の場になっているようだが、委員の名前や選出プロセス、議事録もオープンにされていない。

・区役所移転に関して、「区民まちづくり会議」がどういう位置づけになっているのか、はっきりしていない。

・区役所庁舎整備にかかる専門委員会等を設置して、地域や団体を代表した委員を選任し、議論の場としていただきたい。な

③プレンティ平面駐車場敷地を新庁舎建設地とするについて

質問

・そもそも、この3か所を選定した理由は何か。3か所以外の人口構成の変化に伴い必要となってくるであろう施設とそれに伴う土地利用の在り方等について、住民参加により議論し、西区として計画や方向性を出していただきたい。

意見

・「地下鉄西神中央駅から徒歩5〜6分」とあるが、高低差もあり、高齢者や障がい者、乳幼

初めての竹の台一斉避難訓練

565人が参加

平成28年11月13日(日)午前9時から11時まで、竹の台小学校と竹の台公園を舞台に地域委員会が本年度の大きなイベントとして取組んだ一斉避難訓練が実施されました。

竹の台での初めての訓練にもかかわらず、実に人口の6%にあたる約600人が参加されました。

まず、この訓練は、各自治会や団体の代表者によるワークシヨップにおいて、活発な議論が重ねられたうえで実施されました。

第1回(7月24日)では、「何をやるの?」から始まり、各地区の組織体制を理解しあい、大災害に備えた訓練の必要性を確認するなかで、訓練の骨組みが決まってきました。

第2回(9月25日)では、これまでの疑問点の整理や各団体から進捗状況の報告があり、役割分担が決まってきました。



各地区では、一時避難場所への集結がはじまり、9時10分には、各地区からの連絡員が竹の台小学校に到着しはじめ、9時22分に、学校の体制が整い避難所が開設できたとの想定を出しました。

これを受けた各地区連絡員は、一斉に一時避難所で待機する各地区リーダーに連絡を入れました。30名近い連絡員が、一斉に連絡を入れる姿は圧巻でした。

その後、一時避難所から、隊列を組んで、声をかけながら、竹の台小学校に近いところから続々と避難者が校庭に到着されました。

車椅子の方も参加していただき、1丁目では、要援護者の方が9名参加されました。

整列後は、到着されたリ



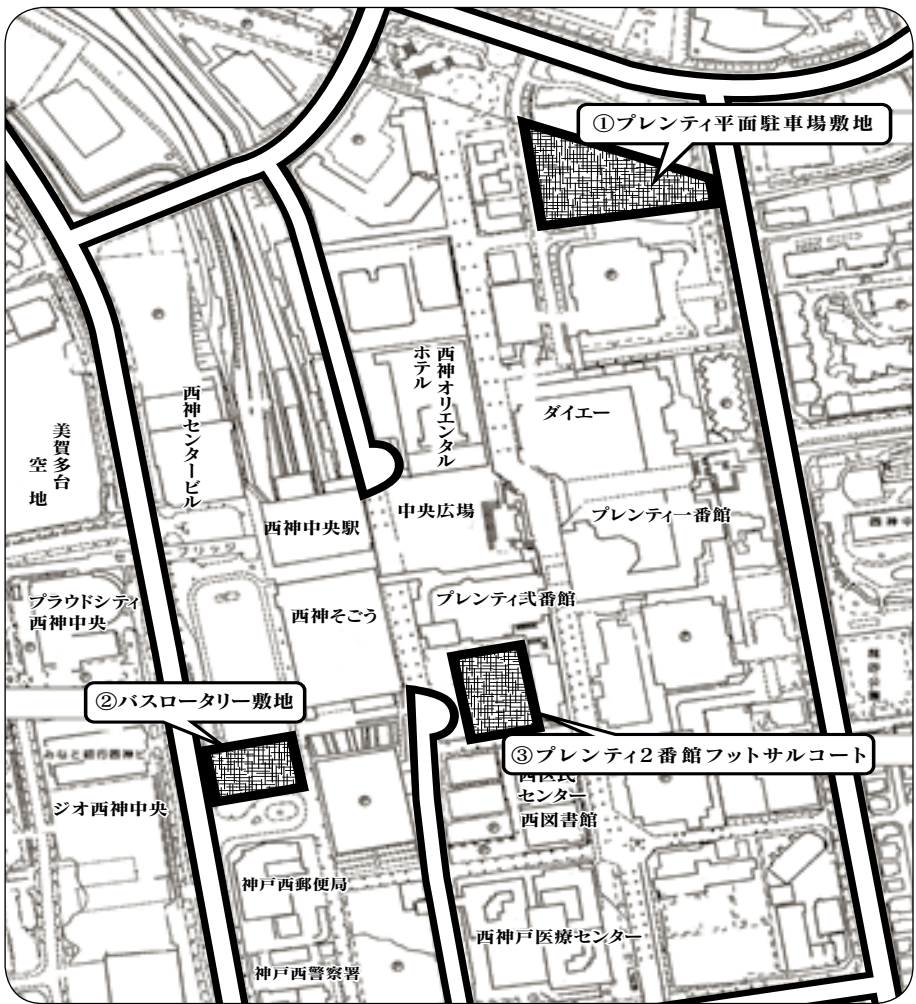
竹の台公園にある
応急給水拠点のマーク

さらに場所をかえて、竹の台公園では、水道局垂水センターの職員の方から、災害時の水道システムについて説明していただき、「大容量貯水槽から応急給水スタンドを設置する訓練」を体験しました。

参加していただいた住民の皆様お疲れ様でした。また、竹の台小学校、西消防署、西警察署、水道局の皆様ありがとうございました。

今後、2月5日(日)に反省会を実施しますので、自治会、管理組合の担当役員の方はよろしく願います。

西区役所新庁舎建設候補地3カ所



平成28年9月29日(火)、この質問・意見に回答する場が、竹の台地域福祉センターで設けられました。竹の台地域からは地域委員会役員10名が参加。神戸市からは、質問内容によって回答部署が異なるため、西区役所総務課・まちづくり課(区民まちづくり会議・区の計画に関すること)、市民参画推進局区政振興課(区役所移転に関すること)、みなと総局技術部計画課(西神中央全体のまちづくりに関すること)から7名の職員の方にお越しいただきました。以下、質問の内容と回答、その後の質疑応答について紹介します。

【A…神戸市担当部局からの回答】 Q…竹の台地域委員会からの質問

1. 計画策定プロセスの透明化について
(区政振興課・西区役所総務課より)

A…区内の団体・地域・企業の代表からなる「西区区民まちづくり会議」を、区役所移転に関する意見聴取の一つの場と位置付け、委員の方を通じて資料を地域の方々に周知するとともに、区のホームページや広報こうべ等で、できる限り公開を行い、意見の募集をしてきた。

Q…意見聴取で一般区民から出された意見はわずか。神戸市が地域のまちづくりの中心と位置付けた「ふれあいのまちづくり協議会」に、なぜこの重要

Q…場所が一番重要だと思いが、これに関して行政が決めるというのであれば、意見は言っ

ても無駄なのか。2月頃に実施する予定の条例上の「パブリックコメント」(左に予定あり)では、何の意見聴取をするのか?

【今後の予定】

平成29年1月頃
区民まちづくり会議で新庁舎整備に関する基本計画(案)を諮る
同 2月頃
条例上のパブリックコメントを実施
※今年度中に基本計画を策定予定

A…場所も含めて、いろいろな方の意見をしっかりと伺いする。

2. 西区庁舎整備にかかる専門委員会等の設置について
(西区役所総務課・まちづくり課より)

A…区民まちづくり会議の委員は、農村、ニュータウン、工業団地等地域特性を考慮したうえに、多様なメンバー構成、年齢構成となるように、各地域の自治会、婦人会、民生委員児童委員協議会、子ども会、PTA、青少年協、老人クラブなどの地域団体の代表の他、工業会や農協などから人選されている。多様な人選がされているので、区庁舎のあり方について意見を伺いする団体としては適切な団体であると考ええる。

また、ここで意見を頂戴するだけではなく、区ホームページで会議の資料を全て公開するとともに、必要に応じて広報紙での意見募集も行っている。以上

竹の台地域委員会、以下Qと略…その委員は誰が決めたのか? やりたい人が手を挙げたのか? 区役所がお願いしたのか?

A…区が推薦して、市長が委嘱している。団体ごとに推薦をお願いしている。

Q…議事録や委員の名簿が公開されていない会議が、意見を聞く団体として適切な団体であるかどうか判断できるのか。

A…議事録や名簿の公開については8月の総会の時に意見として出された。区民まちづくり会議は委員の方で構成されている会議なので、1月の総会で委員の方々に諮り、公開するかどうか決定する。区役所の立場としては、できるだけ公開していくように議論していただきたいと考えている。

Q…兵庫区などの例を見ると、特別の委員会を作り、開催頻度も多く、議事録や委員名簿は公開されている。委員や議事録の公開もない「区民まちづくり会議」を、区を代表した意見聴取の場とするのではなく、区役所移転に特化した専門委員会を設置すべきである。

今まで以上に往来が予測される障がい者、妊産婦、高齢者の来庁を考慮した場合、安全面での不安がある。

また、西神中央地域全体のまちづくりを考えた際に、オールダウン化対策に資するような土地利用の具体化を図る必要がある、庁舎の観点と、まちづくりの観点から、区民まちづくり会議で提示した資料の候補地の中には入っていない。

Q…現在の候補地は、障がい者のために良いのかというのを、考えていただきたい。便利で駅に近いという候補地の中で選びました、というのには、適した場所ではない。距離もある。駅前であるといながら駅前でない。高低差もある。スロープもあるがエレベーター、アーケードの設置もしないといけない。

Q…現在、候補地は、障がい者のために良いのかというのを、考えていただきたい。便利で駅に近いという候補地の中で選びました、というのには、適した場所ではない。距離もある。駅前であるといながら駅前でない。高低差もある。スロープもあるがエレベーター、アーケードの設置もしないといけない。

Q…区民まちづくり会議で、この3つの候補地以外にどんな意見があったのか。他の候補はなかったのか。

【美賀多台の空き地について】
A…他の候補地と比較して、①面積が過大である、②幹線道路を渡る必要があることから、

4. 西神中央駅周辺全体のまちづくりについて
(西区役所まちづくり課・みなと総局計画課より)

【地区ごとの計画について】
西区まちづくり課より

A…西区では、農村、ニュータウン、小規模開発宅地といった多様な地域を抱えた中で、西区全体で共通の目標として区の5カ年計画を策定しており西区でエリア別に計画を立てていないし、計画を立てるという事は考えていない。また、区の計画はソフトに関するものに限られており、施設の建設といった土地利用に関することには含まれていない。

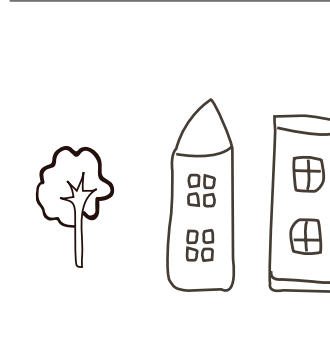
住民が地区で計画を立てていくところもあり、計画を立てるのであれば一緒に考えて行く。

Q…西神中央は神戸市の「西の副都心」と位置付けられてい

【みなと総局計画課より】

西神ニュータウンもまち開きから34年が経過している。元々、都市計画法に基づき全体のまちのプランを策定し、まちづくりを進めてきたが、当初のまちづくりの目標は、一定程度、達成したと考えている。区役所の西神中央駅周辺への移転について、庁内で候補地を選定するにあたって、みなと総局は、プレシティ駐車場や美賀多台の土地を所有しており、関係部局の一つとして議論に参加しているが、結果的に美賀多台の土地は候補地から外れている。

一方、西神中央駅周辺の商業施設について、竹の台地域委員会がプレシティに関するアンケートを実施していただき、地域の方々のニーズに合っていないというご意見などもいただいた。商業施設は我々が直接運営しているわけではないが、関連



地域包括ケアシステム構築に向けて

西神中央あんしんすこやかセンター

8月18日(木)に高齢者に関する地域課題の検討やネットワーク作りを目的に「西神中央あんしんすこやかセンター」地域ケア会議を開催しました。

参加者は、竹の台地域委員会、竹の台民生委員・児童委員、介護事業者、内科医院、歯科医院、薬局、司法書士事務所、シルバー人材センター、警察、障害者地域生活支援センター、西区あんしんすこやか係、西区社会福祉協議会など41名の方に参加して頂き「地域課題」について話し合いを行いました。

多機関で話し合う事でごみ出しや、ごみの分別などごみに関する問題、掃除当番、空き家の問題、自治会活動の問題、近隣トラブルや閉じこもり傾向にある方が集いの場に参加して頂く

にはどうすればよいか、など活発な意見交換ができました。

今後ますます高齢化は進み、一人暮らしや認知症の高齢者が増える可能性が高くなっていきます。一人ひとりが出来ること、

地域住民同士だから出来ること、専門職だから出来ること、地域みんなで出来ることを多機関で検討しネットワーク作りをしていくことが必要になってい



西神ニュータウンと 竹の台地域 高齢化の現状

75歳以上人口は
梶台、竹の台が最も多い

「公園で遊ぶ子どもが少なくなった」、「小学校の子どもが少なくなった」、「デイサービスの車をよくみかける」等、私たちが日々暮らす中で高齢化しているな、と感じることがあります

が、では、実際どのような状況になっているのでしょうか。

図(1)は神戸市住民基本台帳より、西神ニュータウン6地区の高齢者人口の割合を比較したものです。

口の割合は梶台、竹の台が多いことがわかりました。

入居の早かった狩場台で圧倒的に高齢化が進んでいると思いが、介護が必要となる75歳以上の人口割合は、梶台、竹の台が6地区の中で先頭を走っていることがわかりました。

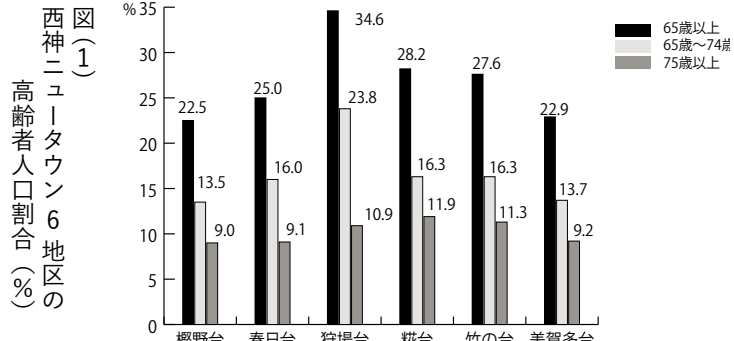
次に、人数の上では、6地区それぞれ何人おられるのでしょうか。

表(1)から、竹の台で75歳以上の方が1,028人と6地区の中で最も多いことがわかりました。竹の台人口が9,119人なので9人に1人が75歳以上ということになります。

表(1) 西神ニュータウン6地区の高齢者人口(人)

地区名	人口	65歳以上	65～74歳	75歳以上
榎野台	7570	1702	1023	679
春日台	8906	2228	1421	807
狩場台	5625	1947	1336	611
梶台	8560	2415	1397	1018
竹の台	9119	2518	1490	1028
美賀多台	6429	2171	1301	870

ます。西神中央あんしんすこやかセンターは、要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の高齢者の介護や生活を支援する取り組みを続けていきたいと思います。今後ともよろしく願います。



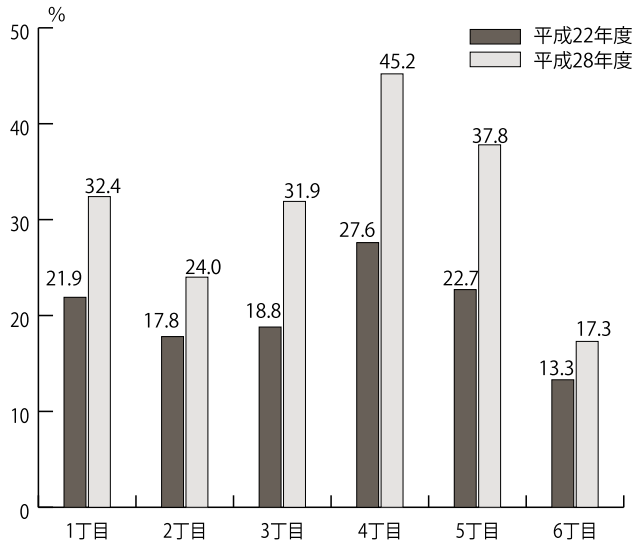
図(1) 西神ニュータウン6地区の高齢者人口割合(%)

地域包括ケアシステムとは

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。

今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。(厚労省ホームページより)

図(2) 竹の台地域の丁別高齢者人口割合(%)



竹の台の 介護保険認定者は 約500人近い

神戸市介護保険のデータから西区人口246,000人のうち第1号被保険者数(65歳以上)は、57,000人で、そのうち要支援1・要介護5までの方は、10,813人、18.9%おられることがわかりました。小学校区単位での正確な認定者の人数はわかりませんが、これを竹の台の65歳以上の人口2518人で割り戻すと、約476人になります。

4丁目は45%超え

竹の台地域の高齢者人口を丁別と比較したものが図(2)です。平成22年竹の台総合新聞21号掲載のデータと比較してみまし

滋賀県

草津市、長浜市連合自治会と交流

10月20日(木)草津市、11月10日(木)長浜市の連合自治会の会長(草津市12名、長浜市17名)が、相次いで、竹の台地域委員会を視察研修に訪れました。

草津市は人口13万人、5万6千世帯、長浜市は人口12万人、4万4千世帯の規模で、こちらは、神戸市西区だけで24万6千人、10万4千世帯です。それぞれの自治体の定める制

度やまちの歴史は大きく違っていますが、「住民による住民のための活動を活発に行いたい」との思いは共通で、自治会としてどのような役割を果たしていくかということについて意見交換しました。

竹の台地域委員会としては、他地区との交流により得られる「気づき」がたくさんあり、今後ともこのような機会を大切にしていきたいと考えています。

鳥取地震 神戸震度3 その時学校では？

10月21日の午後2時7分ごろに鳥取県を震源とする地震が発生し、震度6弱を観測しました。遠く離れた神戸でも震度3でした。

竹の台小学校では

そのとき、竹の台小学校の職員室では先生たちの携帯電話の緊急地震速報が鳴り、間もなく地震の揺れを感じました。その間、約20秒。子供たちは、5時間目の授業中でした。全校の校内放送で、机の下に隠れて身を守るよう指示しました。

揺れがおさまるのを確認して、担任の先生を先頭に運動場へ避難しました。校舎内では、「おさない・はしらない・しゃべらない」を守ることができました。地域のみなさんに贈っていたいたいた防災頭巾をつけて避難しました。

授業で運動場にいた6年生は、担任の先生の指示でまず運動場のまんに避難していたのもよかったです。今回は「訓練」ではなく、本当の地震

での避難となりました。子どもたちは、これまでの防災学習・避難訓練で学んだことを生かすことができました。

今後もっと大きな規模の地震が発生し、校舎の倒壊・避難経路の閉鎖など大きな被害があったり、登下校中や休み時間に災害が起こったりすることも予想されます。学校が地域の避難所となるため、いかに連携をとっていくか等、しっかりと対応できるように準備しておくことが今後の課題であると感じました。

竹の台小教頭 安東 直人



西神中学校では

地震が起こった時は、文化発表会前日のため、係の生徒や文化部の生徒が展示などの準備活動中でした。

階数で揺れ方に違いがみられたようです。3階のオーブンスペースや4階の音楽室ではかな



り揺れました。音楽室では合奏中で机など身を守るものがない、先生が生徒に、背の高い機材から離れるように指示をしていました。2階の図書室で揺れを感じた生徒の中には、「揺れてる、揺れてる、こわい」と声に出していた者もあり、思わず頭を守っていました。教室では展示準備中の生徒を廊下へ移動させ、蛍光灯のないところで揺れがおさまるまで待機させました。一方、体育館では少し揺れたものの、生徒はあまり気づいていなかったようで、パイプ椅子の下に頭を入れるよう指示をしました。

その後は様子を見て作業をそのまま再開しましたが、余震に備え一斉放送をかけ、グラウンドに避難させ、地震の状況を確認し、以後の活動への指示が必要であったと思います。また、全校生徒がいらない日の生徒の人数や、状況の把握も課題です。災害等が起こった時にきちんと判断し、行動できるよう、防災意識を高め、避難訓練の意義を再確認したいと思えます。西神中学校教頭 北井 瑞穂

おいしいお米ができた！

竹の台小 5 年

6 月 9 日に植えた苗の水の管理や草取りなどは、藤井名人にすっかりお世話になりました。夏の間、今年は例年に比べ台風が少なかったのですが、9 月は立て続けに発生した台風の影響もあり、雨の多い 1 か月になりました。自然を相手に農作物を育てることの大変さを知ることとなりましたが、稲のお世話は藤井名人に甘えるばかりでした。そして、いよいよ 10 月 11 日（火）に稲刈りを行いました。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の言葉そのものに、成長した稲に子供たちは驚きました。「1 粒のちもみも大切に。」とアドバイスを受け、稲の根元をノコギリガマで刈り、藤井名人がコン



バインで脱穀してくださいました。残ったワラはわらぶきハウスのために、ひもでくくって干す準備をしました。どれも初めて行う作業ばかり、5 年生の子どもたちも熱心に働きました。時間に限りがあり、田んぼの一部の稲刈りしかできませんでしたが、残ったところは、「たけのわら部」のみなさんが行ってくださいました。収穫した米の一部は、地域委員会で買い取っていただき、ふれあいまつりでの賞品にもなっています。これから、総合学習でこの米にどれほどの価格をつけるのがふさわしいのか検討し、土や肥料等の必要経費と精算することで、来年度の米作り

発展する NPO 法人たけのコム

来年 4 月から駐輪場管理

NPO 法人たけのコムは、竹の台地域委員会のまちづくり活動の理念と同じくする法人で、平成 25 年 9 月に設立されました。NPO 法人たけのコムの大きな事業として、平成 22 年から住民の交流拠点として「たけのパーク」の運営、桑ノ木幼稚園



住民交流施設たけのパーク

に活かしていくことを考えていきます。また、家庭科での調理実習にも活用していきます。子供たちは、今回できた米を「きむむすめ・秋う米（あきうまい）」と命名しました。JA 兵庫六甲で農作物規格規程に基づき検査評価していただいたところ、3 等区分中 1 等級をいただきました。保証付きのおいしいお米です。

竹の台小 5 年担任 中島常彦
有田初江



たけのパーク屋根の太陽光パネル

さらに、たけのパークの屋根にある太陽光発電事業、1 年生「昔の遊び」、3 年生「昔のくらし」、5 年生が行っている稲を育てるための年間を通じた支援、西神中学校の「トライやる」等の学校支援や公園清掃等さまざまな活動を行っています。このたび、神戸市より、西神中央駅にある駐輪場の運営を指

の給食事業があります。「たけのパーク」はランチの提供をはじめ午後にはオーブンスペース運営、各種教室開催、大好評のおせち料理の予約販売、さらに集会所の運営等住民が交流する場所として活動は多岐にわたります。

定管理により受託することになりました。これで、たけのコム雇用する人が 50 人以上になります。住宅ばかりで何もないニュータウンにある竹の台ですが、地元での雇用が増えれば地域が活性化します。

少子高齢化が喫緊の課題とされる竹の台ですが（本紙 3 P 参照）、竹の台五か年計画にある「自立と自律」のまち竹の台を目指していきたい、と NPO 法人たけのコム理事長寛進さんは語っています。



情報提供・投稿

おまちしてま〜す

・紙面充実のため、皆様の投稿をお願いします。地域の出来事、詩歌、感想、問題提起、疑問、何でも結構です。

漫画作者募集

小中高生どなたでも OK。新聞製作にご協力ください。ご連絡は、左記まで。

① 地域福祉センター
FAX 99216889
(9 時〜12 時 火曜日は休館)

② 竹の台コミュニティサイト
http://takenodai.net
(「竹の台」で検索)
お問合せフォームから

編集後記

先日、神戸新聞のイイミミに次のような投稿が掲載されたそう。あるマンション理事会で「知らない人にあいさつされたら逃げるように教えているの

個人の考えは尊重されるべきではあるが、この理事会では十分な情報共有、意見交換がなされたのか、疑問が残る。

小さな場として、自治会役員会、管理組合理事会、さらに、地域委員会が開催している懇談会、その先には、行政主導のまちづくり会議。規模は違うが、基本は情報共有と意見交換。西区新庁舎移転で地域委員会では意見噴出。

引き続き、西区には地域委員会として、情報を提供していただき、住民の意見を伝えていきたい。

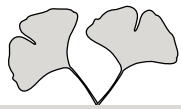


西神中央駅前駐輪場の管理員募集について

12 月 11 日（日）説明会開催

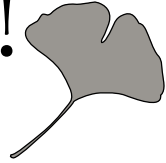
9 時 30 分 竹の台地域福祉センター
応募される方は必ずご出席ください。

業 務	自転車駐車場（以下駐輪場）管理サービス
職種人数	①現場管理員： 若干名 ②定期券販売員： 若干名
仕事内容	①現場管理員・自転車、バイク等の移動整理・場内巡回 ・駐輪場及び周辺歩道等の清掃業務 ・駐輪場の一時使用料の徴収・入金、一時使用券の発行 ・不正使用者への注意・指導 ・その他、駐輪場の運営に付随する業務 ② 定期券販売員 ・駐輪場の定期使用料の徴収・入金取扱い並びに記帳 ・定期使用券の発行
応募条件	ボランティア活動に協力していただける方 週 2 日以上勤務していただける方
雇用形態	パート
給与	時間給：820 円（予定）
勤務体制	① 現場管理員：週 2 日以上勤務が基準 ・就業時間：【3 交代制】（1 勤 A）6：30～12：00 （1 勤 B）7：00～10：00 （2 勤）12：00～17：00 （3 勤）17：00～22：00 ② 定期券販売員：毎月 25 日から翌月 3 日までの勤務が基準 就業時間：15：00～20：00 ※駐輪場の休業日は、12 月 31 日～1 月 3 日の 4 日間
勤務場所	西神中央駅前 南駐輪場（神戸トヨペットの北側） 西神中央駅前 西駐輪場（ラフォルテの北側）
福利厚生	労災保険加入、雇用保険及び社会保険なし 通勤交通費は実費を支給（自転車：100 円 / 回）
雇用期間	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日（更新あり）



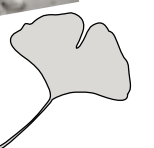
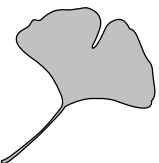
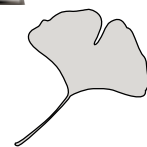
第14回竹の台ふれあいまつり

秋の一日を満喫!



10月9日(日)

皆様ご協力ありがとうございました



2月

竹の台あんしん・安全ネット登録のお申込みについて（お願い）

ご希望の方は、竹の台コミュニティサイト <http://takenodai.net/> の「お問合せフォーム」から「竹の台あんぜん・安心ネット登録希望」とお書きいただき、必ず、住所、氏名、連絡先をお書きください。折返し、一斉配信のシステムでテスト配信し、ご返事のメールを確認して初めて登録の手続きが終了します。住所、氏名、連絡先がない場合、ご返事のメールがない場合、登録できませんのでご了承ください。また、希望される携帯の設定によっては、送信を受け取ることができない場合があります。ご了承ください。 竹の台地域委員会 広報部